

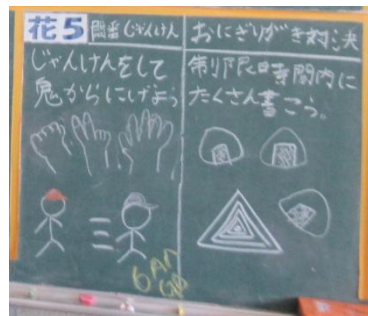
釜小だより

瑞浪市立釜戸小学校 学校だより NO.7
令和 7年 9月26日(金)
10月 校長 玉置 和也

前期間の実りがいっぱい

8月末の夏休み明け集会からもう1か月が過ぎ、朝夕は秋らしさが増してきました。そして、10月10日の前期終業式を目前に迎え、前期まとめの時期がやってきています。

1年生から6年生までで構成する縦割り「花の木グループ」も前期活動を進めてきました。普段は、このグループを基本に掃除を一緒にしています。また、毎月1回朝活動で「花の木遊び」をしますが、6年生がこの「花の木遊び」の計画を立てます。計画した遊びは児童玄関にある黒板で全校に知らせています。黒板に書いてある遊びの名前を見るだけでもワクワクしてきます。「門番じゃんけん」2つ、「人間オセロ」「しっぽとり」「ボールどろけい」。晴れの日だけでなく、雨の日の場合も書いてあり、「リレーじゃんけん」「人間ちえのわ」「ハンカチおとし」「ジェスチャーゲーム」「おにぎり書き対決」楽しみです。9月19日(金)4回目の「花の木遊び」をしました。6年生は、登校してきてカバンなどを片付け終わると、すぐにグラウンドに出てきていました。倉庫の鍵を開けて、鬼ごっここのエリアを決める白い線を引いている。数人で話し合いながら、進行の仕方とルールを確認している。ボールやしっぽとりで使うタグを準備しているグループもあります。時間になり、6年生のリードのもと、15分間、「キャー、キャー」声を上げたり、じゃんけんして勝ってうれしそうな顔をしたり、めいっぱい遊びました。最後の振り返りでは、「みんなが楽しんできて良かったです。」と6年生がまとめを言っていました。「みんなに喜んでもらえる楽しい遊びをしたい。」「私たちがしっかりリードする。」そんな思いが伝わってきました。6年生の活躍の姿に、日が昇り暑くなり始めているグラウンドに清々しさを感じました。



3年生は、青龍の方から太鼓を教わっています。10月末の釜戸町文化祭で曲を披露するため、すでに4回も練習しました。毎回分かりやすくばちさばきなどを教えてくださり、子どもたちの上達ぶりをほめてくださいます。練習の最後に今日はどうだったのか振り返りを言うのですが、「質問でもいいですか。」と一言、太鼓を打つのを待つ時の足はどうすればよいのか質問していました。練習から学び、振り返り、課題を見つけて、質問するこの一連の学習ぶりに「聞いてみよう(やってみよう)」を実行するすばらしさを感じました。

先日、3・4年生の体育館での体育の授業を見に行ったときには、こんなこともありました。活動が終わり、片付けの時間に閉め忘れた窓が一つ。授業の終わりの挨拶をしたあと、一目散に窓に向かって走る一人の子。それを見た学級の仲間の一人が「ありがとう」と声かけ、もう一人が走って窓閉めに行ってくれた子の水筒を片手に持ち、窓を閉め終わったその子に「はい」と手渡しすると、水筒をもらった子はすぐに「ありがとう」と言う。『ありがとう』がつながりました。みんなにこっとして、体育館から教室へ戻って行きました。

もうすぐ前期が終わりますが、釜戸小学校に「自分らしく」「やってみよう」「ありがとう」を言える人に、ありがとうを言ってもらえる人に「が」実ってきています。